

ウクライナの子供におもちゃを送りたい！

「ウクライナにおもちゃを送る会」今治明德高等学校

なかやただし

中矢 匡 さんの講演

今年、今治明德高校では、文化祭で、なかやただし さんの講演を聞きました。

世界中には、厳しい経済状況の中で苦勞している人や、戦争に巻き込まれている人々もいます。特にウクライナでは戦争が長引いて、たくさんの市民に大きな被害が出ています。

子供たちも、親を失ったり、住むところを失ったりして、避難生活を余儀なくされています。

中矢さんは、そういう子供たちに「おもちゃ」を送る活動をしている、というお話を伺いました。



おもちゃは心の支え

私たちは、日本から送られた「ぬいぐるみ」を抱きしめている子供の写真を見ました。

「おもちゃ」で遊んで、つかの間の笑顔を取り戻している動画も見せてもらいました。

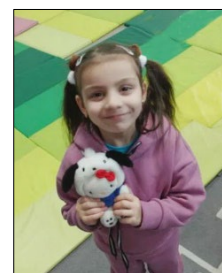
親を失って避難してきたこの子供たちは、この後、ヨーロッパの「どこかの国」の「どこかの家庭」に引き取られるのだそうです。

その不安は、私たちには想像もつかないほど大きいでしょう。

親をなくし、何も持たずに避難してきた子供たちにとっては、

小さな「ぬいぐるみ」一つでも、大きな心の支えになるのです。

「私たちにもできることがある」と感じました。



おもちゃを集めたい！

すでに、多くの学校が、この活動に参加しています。今治明德高校も参加したいと思います。

ウクライナにおもちゃを送るためには、次の2つの活動が必要になります。

- (1) おもちゃを集めること。
- (2) ウクライナに送る費用を集めること。
(1箱あたり 約12,000円+関税の送料がかかるそうです。)

できるだけ、たくさんのおもちゃを集めて、

できるだけ、たくさんの子供たちを勇気づけたいと思います。

生徒の皆さんには、おもちゃの提供をお願いします！

「ぬいぐるみ」ありませんか？！

ど"ニかの 誰かの 寄り所"になるかも...。



Q. どんない「おもちゃ」がいいですか？

A. 小さな「ぬいぐるみ」がいいです。

軽くてやわらかくて、どこにでも持っていかけて、ずっと持っていられるので。

日本から輸送するとき、道なき道を車で走って激しくゆれても箱の中で壊れない。

中身が固く重いと、箱が壊れることも多いらしいので、そうならないように。

おもちゃ自体が、箱の中でぶつかって壊れてしまうこともあるそうです。

1箱20kgを超えるものは、送れない所もあるので、軽い方がありがたいし…。

ということで、できれば「ぬいぐるみ」を中心にしたいと思います。

Q. どうやって集めますか？

A. 職員室に箱を設置します。

直接、持ってきてもらうか、担任の先生に渡してもいいです。

Q. 集める期間はいつまでですか？

A. 1月末に発送する予定です。

ご協力をお願いします。

今治明德高等学校

「ウクライナにおもちゃを送る会」